

第2学年 図画工作科 学習指導案

平成27年10月 8日(木) 第5校時

- 1 題材名 「ぺろっとめくれば ○○のせかい」～楽しもう！ステンシルローラー版画～
A表現(2) 感じたことや想像したことを絵に表す活動 B鑑賞(1)

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、自然豊かな校内で明るく元気に過ごし、どの教科にも進んで取り組んでいる。図画工作科の授業にも意欲的で、体全体で造形活動を楽しんでいる。A表現(1)の造形遊びについては、特に大好きな児童が多く、既習の題材「ほわほわ むくむく」や「ぶかぶか ゆらゆら うかべよう」では、次々と

図画工作についてのアンケート調査結果

	大好き	好き	普通	苦手
図工は好きか?	87.5%	9.5%	3.0%	0%
造形遊び	75.0%	25%	0%	0%
粘土	59.4%	34.4%	6.2%	0%
絵	50.0%	37.5%	3.0%	9.5%
工作	72.0%	22.0%	3.0%	3.0%
鑑賞	53.1%	21.9%	15.6%	9.4%

(調査日 9月3日)

発想を展開させながら、自分の思いを実現しようとしたり、友人と活動しながら自分の想像を広げたりする姿が見られた。一方、A表現(2)の絵や立体、工作に表す活動については、苦手意識をもつ児童が見られる(右表アンケート調査参照)。理由は、用具(はさみやカッター、のりなど)が上手に

使えずに、「作品が思うようにつくれない」と答えているが、他の造形活動には楽しく意欲的に取り組んでいる。
この時期の児童の「かいたり、つくったり」する様子には、初めに手掛けた作業が変わっていき、その変わる美しさや面白さを味わうようなところが見られる。このような活動で、児童は、形・色、表し方などに新たな出会いや発見をしながら、かいたりつくったりすることを楽しんでいる。その生き生きとした姿に豊かな感性と可能性を感じる。

版を表すことについては、第1学年「うつつであそぼう」の題材で、「型押し遊び」を経験している。様々な身近材や自然材を写す中で、並べ方や形の組み合わせを工夫したり、好きな色を使ったりして写す活動を楽しんできている。

(2) 本題材を指導するに当たって

本題材「ぺろっとめくれば ○○のせかい」は、色の重なりを楽しみながらローラーを転がし、版が織りなす(貼って剥がせるシール)計画性・偶然性がつくり出す美の世界を楽しむ活動である。

ねらいは、「ステンシルローラー版画」という新しい技法を学ぶとともに、進んで自分の表し方を楽しもうとする態度を育てることである。児童にとっては、ローラーも版画も、初めての体験なので、とても楽しんで活動できると思われるが、新しい活動が十分に楽しめるように、用具や材料の使い方にこだわり、丁寧に指導していきたい。

低学年の児童は、クレヨンやカラーペン、色鉛筆などの材料を使って絵をかくことが多いので、色の重なりを意識することはまだまだ少ない。このローラーを使った版画では、題材の始めに、ローラーの扱い方、インクの量の付け方等について指導し、思う存分、色の重なり

美しさや面白さを味わわせたい。また、カッターナイフについては、児童は、「ゆらゆらウキウキ」の学習で、カッターナイフで「直線を切る作業」を経験している。本題材では、「曲線を切る作業」を経験させることとなる。カッターナイフは、自由に動かし、好きな形がきれいに切れる、紙の真ん中からも切り始められるといった道具の利便性に目を向けさせ、安全に使いながら、自分の思いを表現できるようにしたい。

また、各時間の終末の段階において「ミニ鑑賞会」を行い、作品の見方や感じ方を広げるとともに、鑑賞の活動に意欲的でない児童にとって、楽しいひとときになるような工夫をしていきたい。

3 学習指導要領上の位置付け

A表現

(2) 感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 感じたこと、想像したことなどから、自分の表したいことを見つけて表すこと。
- イ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。
- ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。

B鑑賞

(1) 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ること。
- イ 感じたことを話したり、友人の話の聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。

[共通事項]

- ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。
- イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

4 研究テーマとのかかわり

基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、思考力・判断力・表現力を育成する授業の工夫改善

図画工作科における「基礎的・基本的な内容の定着」とは、表現及び鑑賞の活動を通して、「造形的な創造活動」をするために必要な能力を培うことである。この題材で培う能力とは、形や色、イメージなどの〔共通事項〕を基に想像を膨らませたり、表したいことを考えたり、計画を立てたりするなどの能力、材料や用具を用いたり、表現方法をつくり出したりするなど、自分の思いを具体的に表現することである。この能力を培うために、この題材での工夫・改善策として、次のようなことを実践したいと考える。

☆材料の工夫・・・

本学級には、手先の不器用さから、活動が上手く出来ずにストレスを感じてしまう傾向のある児童が見られる。版を表す際には、自分の思ったように版が切れなかったり、写す際に動いてしまったりすることが予想される。本題材では、画用紙の他に、貼って剥がせるシールも使用して、初めてのローラー遊びを思う存分楽しませながら、計画性・偶然性が生み出す色・形の世界を味わわせ、大いにローラーの楽しさや版画の魅力に浸らせたい。

☆場の工夫・・・

ローラーや共同絵の具など、用具を置く場所を確保して、混雑しないように広いスペースで行う。人数は4人程度の班を編成し、互いの活動を見たり感じたり話をしたりすることで造形的発見をし、表現の幅を広げられるようにしたい。

5 目標及び評価規準

(1) 目標 ステンシルローラー版画の方法を知り、色や形の重なりを工夫しながら、ローラー遊びを楽しむ。

(2) 評価規準

○版で表すことに関心を持ち、ローラー遊びを楽しんでいる。

【造形への関心・意欲・態度】**関**

○ローラー遊びやステンシルの表現から自由な発想や想像をふくらませている。

【発想や構想の能力】**発**

○材料や用具の特徴を生かしながら、自分のイメージの表し方を工夫している。

【創造的な技能】**創**

○自分や友達の表現から思ったことや感じたことを、話し合いながら、よさや美しさ、面白さを感じ取っている。

【鑑賞の能力】**鑑**

[共通事項]

○ローラー遊びを通して、形や色をとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。

6 指導計画・評価計画（6時間扱い）

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| (1) ステンシルローラー版画について知り、版をつくる。 | 90分 |
| (2) ローラーの使い方を知り、ローラー遊びを楽しむ。 | 45分 |
| (3) 画用紙にシールを貼り、ローラーで色を着ける。(3回～4回繰り返す) | 90分 |
| (4) 貼ってあったシールを剥がして、写し出された世界を味わう。 | 25分 |
| (5) 友達や自分の作品を見せ合い、違いやよさに気づき、互いに認め合う。 | 20分 |

7 本時の学習（3／6時）

(1) 目標

○ローラーの使い方を知り、ローラー遊びを楽しむ。

【造形への関心・意欲・態度】

○自分のイメージに合うように、ローラーの使い方を工夫している。

【創造的な技能】

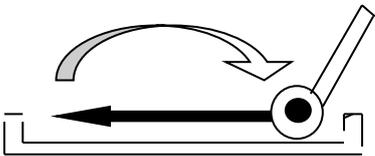
(2) 準備

○教師：ローラー（スポンジ製）、練り板、版画用水性絵の具、画用紙（四切）、雑巾、掲示物型紙用紙、

○児童：タオル、汚れてもよい服、古新聞紙、はさみ

(3) 展開

過程時間	学習活動 予想される児童の具体的な姿 (「 」)	指導の工夫 (〔共〕：〔共通事項〕に係る 内容)	評価と手立て 観点 : 評価規準【評価方法等】 ◎：十分満足できる状況 ◆：C判断児童への手立て

<p>導入 7分</p>	<p>提案1 コロコロローラーのつかいかたをおぼえよう。</p> <p>1 教師の提案を聞き、本時の活動の見通しをもつ。 ・今日は「コロコロローラー遊び」をします。やり方を覚えましょう。 「ローラーって楽しそうだね。やってみたいな。」 「インクをどのくらい付ければいいのかね。」</p> <p>2 ローラーや場の使い方を 知る。 「いろいろな転がし方があるんだね。」 「ローラーの練り方は、行きは電車、帰りは飛行機だね。」</p>	<p>○学習の課題を提示し、コロコロローラー遊びを楽しむ方法を覚えることを確認する。</p> <p>○みんなが楽しく気持ちよく活動できるように、ローラーや場の使い方や表した資料を提示し、説明する。</p> <p>○ローラーの転がし方やインクの量について指導する。</p> <p>○インクは版画用水性絵の具、ローラーはいろいろな種類のスポンジローラーを使用する。</p>	 <p>「行きは電車、 帰りは飛行機」</p>
<p>展開 30分</p>	<p>提案2 コロコロローラーと友だちになろう！</p> <p>3 ローラーを試す。 ・楽しくコロコロローラー遊びをしましょう。 「わあ！ローラーって楽しいね。」 「コロコロ動かすと、ローラーの道路ができるよ。」 「いろいろな模様ができるよ。」 「○○ちゃんの色きれいだね。」</p> <p>4 画用紙に1回目のインクを付ける。 ・1回目のインクを付けてみましょう。自分の表したい世界には、どんな色や模様が合うかな。 「たくさんローラーを転がしたいな。」 「自然の感じにしたいから、薄い緑にしようかな。」</p>	<p>○ローラーや練り板を、できるだけ多く用意して児童が思い切り活動できるようにする。</p> <p>○児童の様々な表現に共感し励ましながら、色の重なりや模様の面白さを思いのままに楽しませる。</p> <p>○紐や型紙を使ってみても楽しい模様ができることを提案する。</p> <p>○自分のイメージする世界を想像しながら、色を選ばせる。</p> <p>○1回目は薄い色のインクを付けさせる。</p> <p>○教師が一人一人の児童と対話をし、<u>模様や色などを基に自分のイメージがさらに広がるように支援を行う。</u>〔共〕</p>	<p>関 ローラーの使い方を知り、ローラー遊びを楽しもうとしている。 【表現・行動観察・対話】 ◎思いに合わせて、色やローラーを選び、いろいろと試しながら活動を楽しんでいる。 ◆なかなか取り掛かれない児童に対しては、ローラー遊びを一緒に行い、意欲を引き出すようにする。</p> <p>創 自分のイメージに合うように、ローラーの使い方を工夫している。 【表現・行動観察・対話】 ◎自分のイメージに合わせて色や模様を考え、多様な表し方を試している。 ◆表現にこだわりがあったり、戸惑っていたりしてな</p>

			なかなか進まない児童に対しては、教師が積極的に対話をし、児童の思いを引き出し、表し方を助言する。
整理 8分	<p>5 自分や友だちの表現を見合って、よさを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫したところを紹介したり、お友だちのよいところを見付けたりしましょう。「ローラーをコロコロカーブさせました。」 「〇〇ちゃんのは、色が重なって、とてもきれいです。」 <p>6 本時の学習を振り返るとともに、次時の活動を知る。</p>	<p>○見るポイントを伝え、自分と友だちとの表現を比較しながら鑑賞するように助言する。</p> <p>○自分や友だちの表現のよいところについてお互いに認め合い、今後の表現活動に活かしていくように伝える。</p> <p>○次回は、切ったシールを貼って、2回目のインクをつけることを知らせ、期待を持たせる。</p>	

8 場の設定 《集会室》

